

CASBEE[®] 新築 [簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市山手町1丁目計画 A棟	階数	地上5F
建設地	大阪府吹田市山手町1丁目933-2	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	201 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年11月 予定	評価の実施日	2014年9月10日
敷地面積	3,000 m ²	作成者	前田建設工業(株) 谷口
建築面積	1,613 m ²	確認日	2014年9月10日
延床面積	6,066 m ²	確認者	前田建設工業(株) 谷口



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	74%
③ 上記+②以外の	74%
④ 上記+	74%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	3.2
温熱環境	2.9
光・視環境	2.8
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.7
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.6
効率的運用	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	2.9
汚染物質回避	3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	4.0
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。→緑豊かな生活環境創造、地域に調和した景観形成、安全安心の耐震性・耐久性・セキュリティの創造に当り、省エネルギーや環境配慮手法を導入。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。→ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用。複層ガラス・内断熱等により品確法省エネルギー対策等級3を確保。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。→建築物移動等円滑化基準を満足。品確法劣化対策等級3を確保。光ケーブル引込。精密機器は1階設置にて浸水回避。	Q3 室外環境 (敷地内) 注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。→リアで現代的な外観を手摺やスラブで程よく分節しアスファルトの色彩計画にて地域に調和。接道部に歩道上空地や緑地により良好な景観形成。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。→潜熱回収瞬間式ガス給湯器 (エコウォス) 設置。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。→一部非構造材のリサイクル材 (エコ商品類型) を使用。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。→緑地や遮熱舗装材等による地表面被覆。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市山手町1丁目計画 A棟		
	建設地	大阪府吹田市山手町一丁目933-2		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			4
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 2.0	3
			住戸・宿泊 3.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.6	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項	省エネルギー対策等級3を確保			